



朝鮮民族の服装は、チョゴリ(上衣)バジ・치마(下衣)で、二千年以上もほぼ同じ形です。また朝鮮民族は白衣民族とも言われるように白色を好む民族です。日本には、四、五世紀頃に朝鮮半島からこのスタイルが入り、十世紀までは、同じような服装であったといえます。これは、高松塚古墳の壁画の絵をみてもわかることでしょう。やがて日本は、十世紀ごろ振りそでから現在の着物のようになりましたが、日本の風土にあわせてチョゴリが長くなったともいわれます。

<朝鮮王朝時代(1392-1910)の服装>



남의 나ヴィ(縑衣)

白木綿に墨汁をしみ込ませた模様の僧侶の着物。



녹의 홍상 노다이 혼산 (綠衣紅装)

若い女性が着た 치마チョ고리。



심의 시뮤이(深衣)

儒教者の位の高い人が着用していた礼服。



담의 단우이(蟒衣)

重臣たちの礼服。季節によって生地をかえて作られた。



활옷 팔로트

王妃の礼服。大きな行事や婚礼服としても使われた。



적의 초그이(赤衣)

王妃や皇太子妃の礼服。



자원상 차우 온산

王様の側室が着た礼服。



까치두루 카치투르

お正月の晴着として子供達が着ていた。



조복 초보ク(朝服)

大きな行事や祝祭に着た官服。



중치막 चुンチマク

ヤンパンの中でも位の低い人達が着た礼服

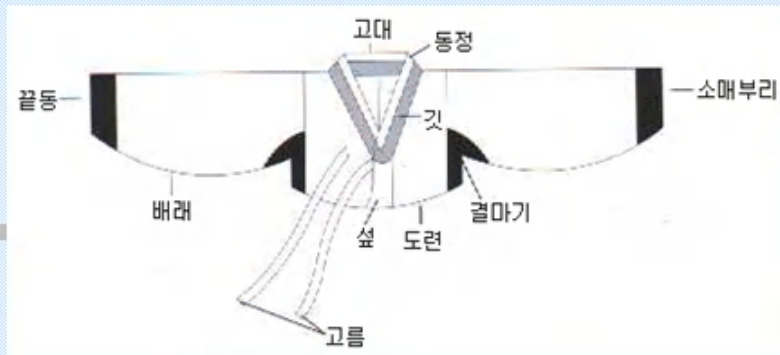


<伝統的な男女の服装(ハンボク)と結婚式の衣装>

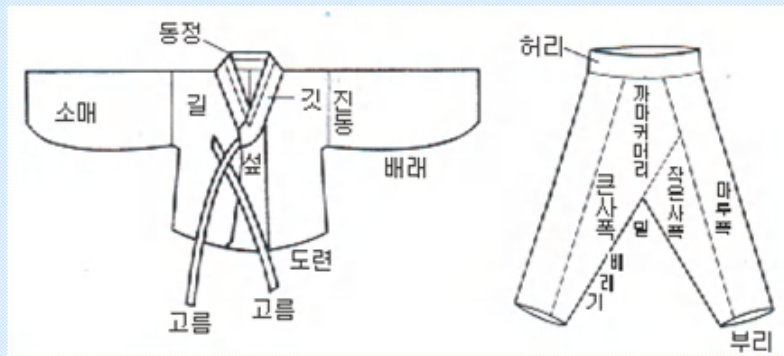


韓服の構造 <韓国語の勉強をして下さい>

여자옷명칭 女性服の名称



남자옷명칭 男性服の名称



<朝鮮王朝時代(1392-1910)의履物(シンバル)と冠(カツ)>



목화
木靴(モクファ)



초리
草履(チョリ)



갓(カツ)

上流階級(ヤンバン)の象徴として使われ、製造過程が1もかいた精巧なものである。



흑회혜
革靴(フツピエ)



동드니신
防寒靴(トンドゥニシン)

草履(ゾウリ)は韓国語で草履(チョリ)ここからも草履の語源があるみたいです。